



12月定例会

P2~ 新しい条例の設定

P6~13 一般質問 7人の議員 村政を **問う**

P14~15 「ぎかい懇談会」

P16~17 村民インタビュー
「民生委員のみなさん」



議会ひえづが
ご覧になれます

新しい条例の設定

議案 第51号

日吉津村議会議員及び日吉津村長の 選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

公職選挙法が改正され、町村議会議員及び町村長選挙における選挙公営制度の拡大と、供託金制度が導入されたことに伴い条例を制定するもの。

1. 供託金制度…（額）村長選挙50万円、村議会議員選挙15万円
2. 村における選挙公営制度の対象
 - ①選挙運動用自動車の使用（借入・燃料費・運転手の雇用）
 - ②選挙運動用ビラ
 - ③掲示用ポスターの作成

➡ 地方自治体が費用の一部を負担する制度

議案 第52号

日吉津村職員の定年引上げ等に伴う 関係条例の整備に関する条例

1. 職員の定年を段階的に65歳まで引上げ。
2. 管理監督職の範囲、管理監督職勤務上限年齢の設定。
3. 60歳以後に退職した職員を短時間勤務の職に採用できる。
4. 定年を段階的に引き上げる期間において、定年退職した者を1年を越えない範囲内の任期で採用できる（暫定再任用職員）。
5. 当分の間、職員の給料月額、60歳に達した日後の最初の4月1日以後、給与表の号給に100分の70を乗じた額とする。
6. 日吉津村職員の再任用に関する条例の廃止。

施行期日：令和5年4月1日から

議案 第53号

日吉津村職員定数条例の一部を改正する条例

理由：計画的な職員採用を実施するため、職員の定数を増やす。
休職職員及び派遣した職員を定数外にできるようにする。

概要：1. 村長の事務部局の職員 45人→50人へ
2. 定数外にすることができる職員の規定を追加

質疑

問

派遣職員が60歳以上になった場合は。

答

定数に入っているので、このまま継続できる。

問

「60歳以上の職員がまだいる」という村民の声がある。
前倒しで、新職を多く入れるべきと思うが、どうか。

答

新規を継続して採用していく。今までのように辞めたら入れるということではない。

12月
定例会

12月定例会は、6日から16日まで11日間の会期で開催しました。
条例の設定など3件、補正予算4件の7議案と発議1件を全会一致で可決しました。また、陳情1件は不採択となりました。

電気代 高騰!

公共施設で約650万円の増

《補正予算 第8回》

〔主な補正〕

歳入

うなばら福祉事業団清算金

466万円

海浜運動公園使用料

110万円

がんばる地域・プラン事業費補助金

38万円

(一般財源で調整)

歳出

管理棟改修工事(海浜運動公園)

471万円

中学生人材育成交流事業負担金

486万円

物価高騰対策小学校卒業児童応援金

120万円

宮川北線歩道新設工事

120万円

がんばる地域・プラン事業補助金

77万円

主な質疑

Q

物価高騰対策小学校卒業児童応援金とは。卒業時に、一家族3万円を支給するもの。

A

Q

中学生人材育成交流事業負担金の説明を。実行委員(保護者・引率者・ALT)の旅費。

A

Q

管理棟改修工事の説明を。

A

海浜運動公園キャンプ場のトイレの洋式化と、シャワーブースの工事。

Q

各課で、光熱水費の追加補正が出ているが、説明を。

A

役場庁舎の電気代は不足分、トレセン・学校の電気代も不足分。ほぼ1・4倍になっている。

ヴィレステひえづの暖房費は、ワクチン接種の会場に利用している関係かと思う。

追加議案

《補正予算 第9回》

〔主な補正〕

歳入

出産・子育て応援交付金(国)

213万円

(県)

財政調整基金繰入金

53万円

道路交通安全施設等整備事業費補助金

61万円

公共事業等債

460万円

歳出

すまいる子育て応援ギフト 320万円

問

一部、村費も充てているが、いずれは村費単独でも、継続する考えなのか。

答

村長 国で検討されるが、できれば継続されていくとよいと考えている。

問

村道宮川北線歩道新設工事 950万円
宮川北線の工事費は、トータルではいくらになるのか。

答

村長 6月に650万円。用地代の120万円と、今回の950万円で合計は1720万円となる。



全ての議案が全会一致で議決された

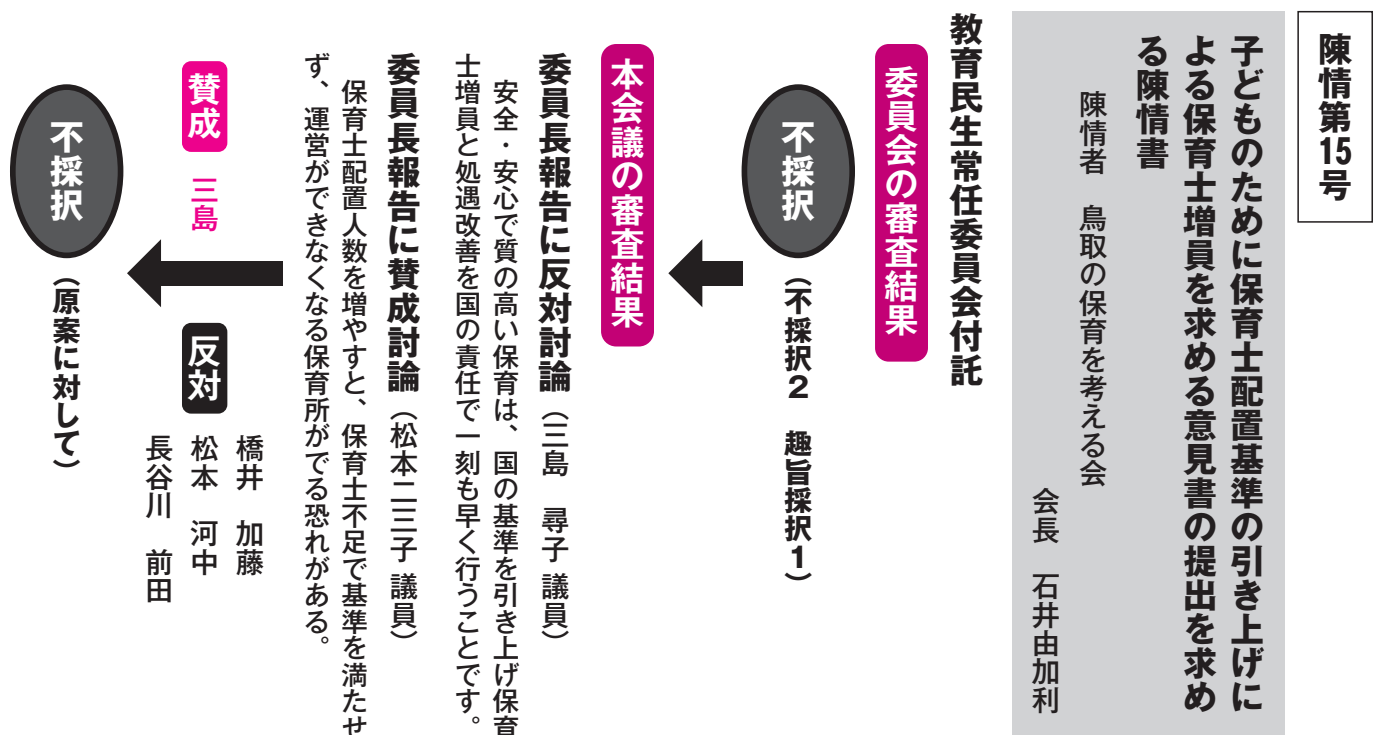
議案番号	件 名	議決結果
第51号	日吉津村議会議員及び日吉津村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	可決
第52号	日吉津村職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例	可決
第53号	日吉津村職員定数条例の一部を改正する条例	可決
第54号	令和4年度鳥取県西伯郡日吉津村一般会計補正予算（第8回）	可決
第55号	令和4年度鳥取県西伯郡日吉津村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2回）	可決
第56号	令和4年度鳥取県西伯郡日吉津村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）	可決
第57号 追加議案	令和4年度鳥取県西伯郡日吉津村一般会計補正予算（第9回）	可決

陳情1件の審査結果

陳情の扱いについては、その関連性を考慮して、原則「総務経済常任委員会」「教育民生常任委員会」に付託して、それぞれの委員会で議論・検討の後、その陳情の「採択」「趣旨採択」「継続審査」「不採択」などが決定されます。

その結果を本会議で報告し、それに対し「反対」「賛成」の討論を行い、本会議において採択し、日吉津村議会の最終判断とします。

（採択の場合は、政府機関等へ意見書を提出します）



常任委員会調査報告

総務経済常任委員長報告

●調査目的 「ミライトひえづ」の運用実態と防災施設としての機能について

●調査日 令和4年11月16日

「保育所」

- 保育所から繋がる村道富吉線とのT字路は交通安全対策を図ること。
- 職員室に非常通報装置の集合パネルがあるが、これらの機能を職員間で共有し徹底されたい。
- 非常時の対応をマニュアル化して備えられたい。

「子育て支援センター」

- 職員の休憩スペースの確保を検討されたい。

「資料館」

- 来館促進のため定期的な展示物のローテーションを行い、広報活動を行われたい。

「児童館」

- 玄関入口前通路の柱位置が悪く対応を検討されたい。
- 2階ホールは一時避難所としての機能体制を築かれたい。



教育民生常任委員長報告

●調査目的 コロナ下の小学校の教育実践

●調査日 令和4年11月15日



- この2年余りコロナ下で、児童の様子を参観する機会がなかったが、教職員の多様な対応で、楽しい学校環境が維持されていた。
- GIGAスクールなど進展の一方で、家庭環境や保護者の理解で格差が生まれないよう配慮されたい。
- 保育所や児童館などの複合でミライトひえづがオープンしたが、就学前教育・保育、小学校との連携、学童保育と小学校の連携など改めて相互点検をされたい。さらに箕蚊屋中学校及び校区内の小学校との教育内容のすり合わせも配慮し、その充実に努められたい。
- コミュニティスクールにおける「塾義」は、コロナ下の今こそ貴重な場であり、顔が見える関係を基盤とした本村のむらづくりの各施策において大いに参考とされたい。

一般質問

村
政
を問
う7人の議員が
質問しました。

12月7日(水)

議 員	ページ	質 問 事 項
加藤 修	7	1. 令和5年度の財政運営は 2. ミライトひえづの運営状況は
松田 悦郎	8	1. 野良猫の対応策は 2. ヴィレステひえづ前の事故防止対策を 3. 村長として再挑戦の考えは
三島 尋子	9	1. 村が考える社会福祉協議会とは 2. 子どもの健やかな成長に支援を
井藤 稔	10	1. 防災訓練の結果と今後の課題は 2. SNS活用の積極推進は 3. ミライトひえづの今後の課題は
長谷川康弘	11	1. 海浜運動公園の今後の計画は 2. 移住定住施策の現状と後は
河中 博子	12	1. 行政施策の検討結果を問う 2. 更なる住民サービスを
前田 昇	13	1. 村民納得の海浜エリア活性化の進め方 2. 資料館の充実とふるさと学習の振興を



加藤 修 議員

令和5年度の財政運営は

村長 健全運営につとめる



▲役場庁舎

Q

ミライトひえづ建設等の事業も一段落したところ。それにもなう村債償還が始まる。また、すでに償還が始まっているものもある。そこで、村にどのくらい借金があるのか。どうやって返すのかを示せ。また、財源としては

王子製紙だけでは不安。新規財源掘り起こしが急務と思うが、どうか。

A

村長

村債は、令和4年度末で約32億円。

起債の保育所部分は、施設整備事業次世代育成支援対策施設整備交付金を。それ以外は、公共施設等適正管理推進事業の、集約化事業および複合化事業分を活用する。

起債をすると、将来負担が増えていくのでできるだけ交付税を伴わない起債は避ける等、年間の償還額が財政運営の大きな負担とならないよう、将来負担比率・健全化判断比率を注視しながら運営していく。

新規財源としては、ふるさと納税がある。変動はあるが、毎年一億円の寄附額が見込めるようになった。

積み立てた寄附金は、環境保全など寄附者の意向に沿った、事業に有効活用している。

加えて、令和2年度から企業版ふるさと納税のしくみが始まった。令和4年11月末では、740万円。12月には増える見込みもある。また、既存の財源である村税も徴収ネットですべて、徴収に取り組みように検討をしている。

ミライトひえづの運営状況は

村長

総括室を中心に運営する

Q

日吉津保育所・小規模保育所の申し込み見込み数は、

また、複合施設としてのメリットは活かされているか。

A

村長

日吉津保育所の申し込みは145名の昨年より16名の増。

小規模保育所は27名。



▲ミライトひえづ

入所の調整を行い、待機児童ゼロの継続・職員配置など適切にしていく。

一時預かり・園庭開放は保育所入所への切れ目のない支援となる。保育所・児童館閉館時間の統一は、一緒に迎えるに行ける保護者の負担減となっている。総括室を中心にミライトひえづ会議を定期的に行い運営している。



松田悦郎 議員

野良猫の対応策は

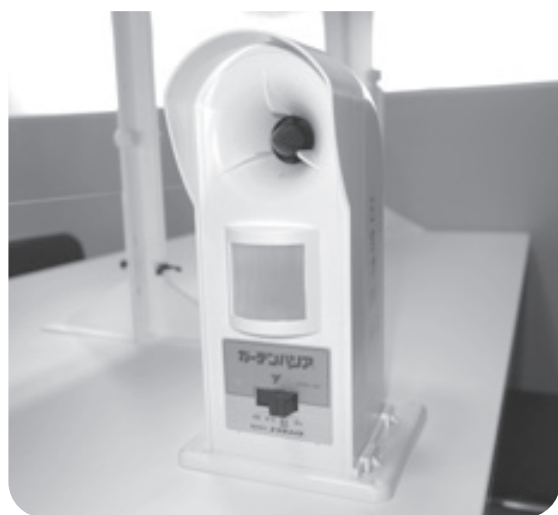
村長 県と協議し対応をしていく

Q 村内で多くの飼い主のいない野良猫が、家の周りに糞尿するなど、多くの住民が迷惑をされている。

A 村長 野良猫の対策の相談は、本村でも複数の方から寄せられている。

本村でも野良猫の対応策を講じるべきだ。

庭に糞や尿をされたり、車庫で子猫を産んだなど相談がある。野良猫へ無秩序な餌



▲猫の被害を軽減する機器

やりの対応は、電話連絡により情報を得た時

該当者宅を訪問し、状況指導や現地指導を行っている。

野良猫の不妊去勢手術は、県の補助金も活用し年間2頭分の予算で対応しているが、それ以上の希望者がある場合は頭数を増やしていく。手術経費は半額を補助し、上限は1万円である。

猫の被害を軽減する機器の貸し出しは住民課で対応し、現在2台導入している。効果があるようなので、今後は機器の購入につなげたい。

本村の対策として、

必要に応じ県と協議し対応していく。

ワイレスティえづ前の事故防止対策を

村長 路面表示や注意喚起の看板を設置したい

Q ヴィレスティえづには車の利用者が多くなっている。

ヴィレスティえづへの進入路は、社協からを含め3カ所あり、同時進入すれば接触事故が懸念される。

対策と改善を伺う。

A 村長

3カ所から村

道駐車場に向かう車と、浜田線を通行する車の対策は、浜田線が優先



▲3カ所から同時進入は危険がいっぱい

道路である。

小学校グラウンドから児童がヴィレスティえづに走って横断する対策を含めて、現状を確認し、路面表示や注意喚起の看板設置などを検討し実施したい。

A 村長

経験したことのない新型コロナウイルスに向き合いながらの4年間であり、現在もこの戦いを続けている。

4年前に掲げた3つのチャレンジの継続や、地域ぐるみで育てるコミュニティスクールの取り組み、農業問題などさらに前進させていきたいので、来年の村長選挙に再度出馬する決意をした。

Q

村のリーダーとして、再挑戦の考えは。

村長として再挑戦の考えは
来年の村長選挙に再度出馬する



三島尋子 議員

村が考える社会福祉協議会とは

村長 福祉のかなめを担う組織



▲福祉センターは、福祉の拠点です

Q 令和3年度決算資料説明によると、社協事業の成果からみた課題・今後の方針に、委託料が年々上昇し課題だとしている。何が課題か。

A 村長 人件費が年ごとに増え、村の負担が増える一般的な課題。

Q 福祉センターの運営を、指定管理導入の検討が必要

とある。福祉センターは、社協の基本財産として登記してある。村が指定管理導入できるか。

A 村長 指定管理制度を前提とするものではない。郡内すべての福祉センターに、指定管理制度が導入されている。メリット、デメリットを整理し、検討が必要では、ということ。

Q 補助事業の内容容見直しにより5年度委託事業の精査が必要としている。委託事業の方針は。

A 村長 8050問題・引きこもり・障がい者・生活困窮に視点を置き、情報共有で地域づくり、ふれあいのまちづくり、小地域福祉活動も連携していく。

社協は、村の福祉のかなめの役割を担う組織。包括的支援体制や重層的支援体制整備事業の実施を念頭に、社協と一体的に取り組む。

子どもの健やかな成長に支援を
教育長 困難を抱える児童や家庭を組織的に支援

Q 文化省は、令和3年度小中学生の不登校生が過去最大となったと発表。村の子どもも例外で



▲小学校は、あなたを応援しています

はないと聞く。現状と対応について。

A 教育長 不登校児童はいるが、まったく登校できないのではない。教育支援センタープラットホームを設置し支援員を配置。困難を抱えている児童や家庭を組織的に支援している。

短期間の効果は難しい事例もあるが、継続の対応をしていく。

Q 学校給食無償化は、子育ての大きな支援、無償化を。

A 教育長 年度末までの食材費高騰分5円を増額。村補助は27円で保護者負担は増えない。

Q 子どもの医療費を完全無料に。

A 村長 今後も県と協調し、現在と同様な支援助成を考えている。



井藤 稔 議員

防災訓練の結果と今後の課題は

村長 村全体の防災力強化に繋げる

Q 村防災訓練や重点事項の推進状況を伺う。

- ① 訓練の評価と講評は。
- ② 対策本部の体制強化は。
- ③ 自主防災組織の充実対策は。

- ④ 相互の連携強化は。
- ⑤ 今後の課題は。

A 村長

① 活動の流れや必要事項の確認ができた。情報の集約、迅速な伝達、相互の連携等について講評をいた

だいた。

② 昨年見直した班編成などの検証ができた。引き続き強化を図っていく。

③ 育成責任者として、必要な支援を行っていく。

④ 通信手段を整備するとともに、平時から連携を図っていく。

⑤ 参集段階からの訓練情報集約体制の強化を行い、村全体の防災力の強化に繋げていく。

SNS活用の積極推進は

村長 利便性と効率化を図っていく

Q 積極導入は村の将来を決定する。

① マイナンバーカードの取得は。

② 活用システムの積極導入は。

③ ユーザー研修強化は。

④ 2040年問題と今後の課題は。

A 村長

① 土・日・祝日の申請受付を実施。取得者が66・5%で県下で一位。

② 子育て、介護、罹災証明、転出入の手続き等で導入し利便性を向上する。

③ 重要であり、受講希望者数の状況をみながら対応していく。

④ 現役世代の減少に備え、真に業務の効率化を図っていく。

ミライトひえづの今後の課題は

村長 グランドデザインに沿って推進

Q 次の点について伺う。

① グランドデザインの運用は。

② 一時預かり事業の推進は。

③ 施設での防犯、防災対策は。

④ 整備完了時期とその後

A 村長

① 基本コンセプトを共有し、推進方向を示すものとして公表、運用している。

② 現時点で13名申請を受け、10名が登録済み。

③ カメラなどを設置し、施設内に垂直避難場所を確保するなど、ハード、ソフト両面から対応している。

④ 来年2月に完了予定。グランドデザインに沿って運用していく。



▲村災害対策本部（訓練10月2日）



▲動き始めたミライトひえづ



長谷川康弘 議員

海浜運動公園の今後の計画は

村長 意見を反映し計画策定を進める



▲どう変わる海浜運動公園

Q

ゲートボール場を、観光庁の補助金を活用しオートキャンプ場へ変更の計画であったが、補助事業として採択されなかった。今後は、村民の意見を聞きながら運動公園の整備を検討するとのことだが、その後の計画の進ちよくは、また、サウンディング型市場調査が行われているが関連性は。

A

村長 海浜運動公園一帯の活用策については、村民から意見募集を行い、多様な利用促進を図って欲しいなど、56件の意見をもらった。また、指定管理者導入を視野に入れ、民間事業者の提案や意見を聞き、新たな施設利用策を見いだすため市場調査を行い、1事業者の申請があった。市場

Q

村の人口ビジョンは2060年に3600人である。今後でも人口増加を目指す施策に取り組むとのことだが、施策を推進するにあたり課題はないか。あれば対策を考えているか。

村長

土地利用の意向調査続ける

移住定住施策の現状と今後は

調査の結果は、12月に村のHPで公表する。プロジェクトチーム、検討委員会、村民、市場調査の意見を反映し、今年度中には計画策定する予定である。また、予算をとともうものは、補助事業など財源の確保を検討していく。

A

村長

移住定住の相談窓口を開設している。課題としては、住宅地の確保である。11月現在で販売中の土地は5区画、村内の空き家は33戸あり、そのうち販売中は1戸でHPに掲載している。建築可能な土地や空き家所有者に移住定住促進のアンケートによ

る意向調査を行っており、令和2年度から今まで、土地37区画の契約、空き家は16戸の解消となった。昨年度は、市街化調整区域内の規制緩和区域を拡大。この区域内の土地所有者にアンケートにより、土地利用の意向調査を行う予定である。



▲住宅戸数は増えるのか



河中博子 議員

行政施策の検討結果を問う

村長 現状ではできないこともある

Q 旧うなばら荘の最終的な清算結果は。

A 村長 清算人のもとに、債権の取り立て、債務の弁済など補助金

1千509万円により清算業務を行ってきた。残余財産466万4千円は、設立者の日吉津村に帰属させることにした。

Q ひえづ113ch制作の後継者はできたか。

A 村長 不測の事態の際にも事業を継続できる体制は必要で、事業を停止しないようバックアップできるように検討したい。

Q 職員のモラルは向上しているか。

A 村長 課内で情報共有を図り、組織としての一体感を醸成することで、モラルの向上につながっているものと考えている。

Q ミライトひえづ「病児保育・お迎え型」の検討結果は。

A 村長 現状では、病児保育施設にお届けするところまではできない。

Q 今後農業振興策を検討・実行するのは、農業委員会か未来会議か。

A 村長 今後は村長を本部長とする農業将来ビジョン推進本部会議を中心に、農業委員会

Q 80歳以上で自費で人間ドックを受けている人に補助金を。

A 村長 集団検診時に健康診査とがん健診を受診いただくことで、人間ドックとほぼ同じ

村長 独自の事業について検討する
更なる住民サービスを

等と連携を図りながら取り組みを進める。

Q 赤ちゃん誕生祝い、下水道料金を年間無料に。

A 村長 新生児についても、水洗便所、台所など生活全般の雑排水が発生するため、規定の料金を負担していただくよう理解をいただいている。



▲ミライトひえづ村独自の施策を



▲住民に寄り添った施策を



前田 昇 議員

村民納得の海浜エリア活性化の進め方

村長 今年度中に活性化案を作成する



▲村民いこいの場としての公園利用拡大を

Q 海浜エリアは、村民共通の財産。周辺の開発は、村民納得のもと、丁寧に進めるべきだ。海浜公園の市場調査に取り組まれた経緯はいかに。

村長

A 指定管理者制度への移行に向けて意欲ある民間業者があるかなど、調査するために実施した。申し込み者が一社あり、オートキャンプ場やドッグラ

Q ンが提案されている。市場調査の実施について、海浜エリア検討委員会に相談したか。指定管理者への移行を念頭に検討されているが、委託料などの積算はいかに。

A 総合政策課長 検討委員会には相談していない。管理委託料は、現状を踏まえ検討するが、現時点でははつきりしていない。

Q まずは、村民からの意見・アイデアをよく検討すべきであり、村民の利用拡大を図るべきでは。

村長

A 子どものための遊具がないとか、「有料施設」の看板があつて、入りにくいというご意見もいただいた。検討委員会や職員、プロジェクトで検討する。

Q 旧うなばら荘の今後について、村民の皆さんから疑問やご心配をいただいている。広域行政の対応を求めたいが、当面の管理や、村有地の借地料はどうなるか。

総務課長

A 施設及び用地については、民間事業者に譲渡されており、施設管理は事業者が行う。借地料は発生しているの、村が徴収する。



▲ミライト資料館の展示・活用に工夫を

資料館の充実とふるさと学習の振興を

村長 重要な取り組みだと理解している

Q ミライトひえづの展示だけでは不十分。収蔵庫と連携させて歴史や文化を学べるようすべき。

村長

A 以前の資料館のような展示にはなっていないが、収蔵庫を

活かしながら、学習の場となるよう検討する。

Q 村誌ができて30数年を経過した。貴重な行政資料を保管整理し、手に取って読みやすい「ふるさと読本」を製作しては。

総務課長

A 以前からの指摘を受けて、貴重な行政資料については、保存整理に努めている。

開催

4自治会(海川・今吉・富吉・日上1) 公民館で開催しました。多くの皆さんの参加とご意見をいただきありがとうございました。すべては掲載できませんが、行政にも伝え、今後の議会活動に活かしていきます。

開催日: 11月23日、11月27日



●現状と今後について
教えてほしい。
●その後どうなっているか情報の提供がない。

旧うなばら荘



▲海川自治会

●テニスコート跡地は何年も放置されているが、子どもの遊び場を作れないか。
●海浜エリア意見募集をしたが、その後について何も無い。

海浜運動公園の活用について



◀テニスコート

●粗大ごみなど、以前のように河崎クリーンセンターに搬入できるように検討してほしい。
●海川新田地区は、新しい家が増えて、ゴミ置き場を増やしたいが、場所の選定は自治会任せにせず行政も情報共有してほしい。
●ゴミ袋を買えるところを増やしてほしい。

ゴミ問題



◀河崎クリーンセンター

●今吉の東西にある空き地で今後の建築見通しは。

空き地問題



▲ドローン

●温暖化により大きな台風被害が危惧されるため被害状況を把握するために本村でもドローンを活用したらどうか。

環境問題

●2号線拡幅工事、通学路のグリーンベルトの安全対策が不十分。早急な対応が必要ではないか。
●西川沿いの道路は車の往来が多く、すれ違いにも危険である。
●村道は、ひび割れ、陥没など状態が悪い。対応が遅いし、もっと迅速に保全すべき。

道路問題



◀西川沿いの道路

ぎかい懇談会を

●村の花はチューリップであるが、最近栽培が少なくなっている。
コスモスやヒマワリの栽培はできないか。
●耕作放棄地が増えており、村の花として誰かが音頭をとって解消を図る必要があるのではないか。

村の花について



▲ヒマワリ

農業問題

●農業委員会の作業に、他町ではタブレットを活用しているが、本村でも活用されたい。
●農業への肥料代助成は、加算金を提供しているが、申請を受けて支援すべきである。

▶大豆畑



高齢化問題

●本村も高齢化が進んでいるが、交通手段としてボランティアバスの運用はできないか。
●コロナ下で行事が中止となり、高齢者は出かける機会が減っているため、対応を考えてほしい。

◀デマンドバス



その他

●運動会など、子どもからお年寄りまで交流できる場など、世代間交流などの場を考えてほしい。

議会に対して

●議員定数増減について、どのように考えているのか。
●議員定数はまだ多いと思う。また、活動が見えない。
●議会報は、議会の内容と身近な自治会の問題とは一致していない。
●一般質問の回数は、県下ではどのようになっているのか。

●一般質問後、住民意見がどのように反映されているのか。
●議会の場で、次代を担う世代の意見を取り入れてほしい。
●荒廃地が増えつつあるが、議会としてどのような対応を考えているのか。



▲上1自治会

あなたの身近な相談相手

障がい者、日常の暮らしでのできごとなど周囲に相談で地域の身近な相談相手として行政や福祉サービスにつな兼ねています。

今日は気楽に話してください

Bさん

委員の欠員が出ました。こんなことは初めてです。

Cさん

頼まれたときには「別に何もすることは無い」といわれました。早さがしてほしい。

Bさん

民生委員協議会の推薦委員に、欠員の報告はありませんでした。

定年は80歳です。顔を覚えてもらえるまで時間がかかるのに、村の民生委員は早く変わられる。

わからないことは…

研修会が、あります。

主任児童委員さんはどうですか

Fさん

一期が終わったところ、あつという間だったですね。

乳児検診に12回くらい出させてもらいました。

子どもさんの成長を感じて、親御さんの顔や、ようすをみせてもらい

ました。
コロナのため、触れ合うことはできませんが、見守ることができてよかったと思います。



Eさん

訪問事業もコロナでできず、検診の時だけでしたが、個別訪問の時よりもお母さんもゆったりされていてよかったと思います。

村では検診に出来ない親御さんはいないので…熱心です。

Fさん

日吉津は子どもの数も多い。少子化と言われるが、子育てしやすいのだと思います。

Bさん

鳥取県は90人増えている。いいことです！

地域の情報、災害時の対応についてはどうされていますか

Bさん

アンテナを高くして、自治会の七

福会には必ず出ています。

参加者は減ってきていますが、情報が入るのでとても助かっています。

Cさん

今、コロナ禍で集まりがない。情報を集めたいがなかなか難しい。民生委員は初心者ですし、役場からの資料や自治会からの災害対策の資料のみ。22軒の高齢者、独居の方のリストをやっと作りました。

Bさん

要援護者台帳はいただいている。以前、死亡事故があったからか、研修会では、「自分のことを一番大切に」と、言われる。

Cさん

要援護者の台帳は作りましたが、本当に利用できるかわかりません。

Bさん

となり近所が一番だと思います。

非常時こそ
温かいおもいやり



村民 インタビュー

民生委員さんは

地域のつながりが薄れる中、一人暮らしの高齢者や
きず孤立してしまうケースが増えています。そこで、
ぐ役わりがあります。子育てを支援する児童委員も

Cさん

5人くらいグループ化し、
表を作っている。

自治会では独自に避難訓
練をしています。

Bさん

うちの自治会でも、毎年1
回しています。

Dさん

自治会で防災委員はあり
ますが活動はない。班長をし
ていたら、防災委員を兼ねま
せん。

**民生委員さんも自治会防
災委員ですか**

Bさん

防災委員ではない。力を借
りなくてもやっていけるの
だと思う。

**独自にいろいろ取り組ん
でおられるのでは**

Aさん

支え愛訪問の方と民生委員が一緒
に活動、日頃の見守りや思いやりが
大切だと思う。

川や外灯、車が止めににくいところ
等歩いてわかる。声掛けも大切に、
年に何回かはしています。



海川自治会
石田 恭子さん

富吉自治会
長谷岡 真由美さん
(主任児童委員)

今吉自治会
渡邊 均さん

下口自治会
長谷 徳子さん
(主任児童委員)

上2自治会
橋田 英明さん

富吉自治会
前田 保枝さん

(昨年12月1日民生委員改選)

コロナ禍で家に行けないが、平常
時のつながりが一番。地域マップ作
りも頑張つてやっていきたい。
外国人が多く来られるようになり、
片言でもいいので、日常会話ができ
るようになりたい。

最後に何か…

とにかく、欠員をどうにかしてほ
しい。

初期は75歳まで大丈夫。以前とは、
民生委員の役割も変わってきていま
す。

議会に対してのご意見は

- ・公約が「絵にかいたモチになつて
いる人もいるのでは」。
- ・議会報は読みやすくなった。
- ・住民目線でやっていただきたい。

**都合のつかなかった
民生委員さん**



下口自治会
塗信あゆ美さん



上1自治会
井田 和子さん

ご協力ありがとうございました。

いざいしました。

議会のうごき

商工会との行政懇談会

とき 11月4日(金)
ところ 役場第1・2会議室

米子日吉津商工会との懇談会が、久しぶりに開催されました。

地域活性化の取り組みの現状と課題について、それぞれ意見を出し合い、今後部も協力し合いながら、県西部の活性化を進めていくことを確認しました。



県町村議会議員研修会

とき 11月21日(月)
ところ 三朝町総合文化ホール

「議員のコンプライアンス」

元全国都道府県議長会

事務局次長 内田一夫氏

「防災・減災と議会の役割」

防災システム研究所

所長 山村武彦氏

県下全町村の議員対象の研修が行われました。2名の講師のそれぞれ特色のある講演を聴き、今後の議員活動に活かしたいと思います。



王子製紙との研修会

とき 12月16日(金)
ところ 役場第1・2会議室

定例の王子製紙との研修会が開かれました。

米子工場の概況、環境対策について説明を受け、その後質疑応答などが行われました。

村にとって重要な企業であり、今後も連携を深めていかなければならないと感じました。



編集後記

令和4年はロシアのウクライナ侵攻に始まり、円安、物価高騰、また、コロナの波が何度も押し寄せたなど、暗い一年となりました。令和5年は卯年です。ウサギのように跳ねて、跳ねて面白い話題をつかみとりたいたいものです。

—長谷川 記—

次回の定例会は
3月です
まっちょーよ～！



表紙 いもほり交流会

【議会広報広聴常任委員会】

松本三子・長谷川康弘

加藤 修・三島 尋子

松田 悦郎